

2020年度第6回支部集会【関東支部】 「私たちの町の日本語教育」開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021年3月6日(土) 会場：オンライン (Zoom)

参加者：参加者53名 (会員43名・一般10名)

関東支部集会「私たちの町の日本語教育」は、3月6日(土)にオンライン (Zoom) で開催されました。当日は他の学会、研究会と重なり、参加者は53名でしたが、午前の講演会、ランチタイムの「ワールドカフェ」、午後の口頭発表、ポスター発表において活発な意見交換が行われました。

午前の部では、きぼう国際外語学院の栗又由利子氏、宇都宮大学地域創生推進機構地域デザイナーの坂本文子氏をお迎えし、「私たちの町の日本語教育—宇都宮コミュニティ FM ミヤラジ「あなたの隣の外国人」を通して見えてくる地域の現状と課題—」と題して、ご講演をいただきました。外国人住民が地域とつながるための方策、そのための日本語教育の在り方について、やさしい日本語地域ニュースをはじめたFM放送から、外国人が地域とのかかわりについて発信するコミュニティFM、多文化防災の取り組みへと発展する過程をお話しくださり、日本語教育以外の領域とつながることの大切さを学ぶことができました。



左 講演スライドより



右 ワールドカフェの「島」

ランチタイムには、調査研究推進委員会とのコラボセッションで「私たちの町の日本語教育ワールドカフェ」を開催しました。オンラインでの初めてのワールドカフェとなりましたが、5つの島で話し合われたトピックを共有することで、いろいろな考え方や情報を得ることができました。みなさんが抱える日々の悩みやアイデアから、教育に役立つツールに至るまで、興味深い話題で活発な議論が行われていました。特に印象的だったのは、Zoomのブレイクアウトルームを用いてそれぞれの島に移動したのち、話し合いながら、Padletというweb上のツールを利用してメモを作ることができたことです。このような方法が使えたのはオンラインならではの活動方法だと思いました。

午後の部では、口頭発表1件、ポスター発表2件が行われました。口頭発表はコロナ禍のオンライン授業に関するもの、ポスター発表は2件とも多読に関するもので、発表後も質疑応答が活発に行われました。

事後アンケートにはたくさんのコメントが寄せられました。関東支部とそれ以外の地域の方の参加が半数ずつおり、オンラインでの参加や平日での開催を希望する声がありました。オンラインと対面のそれぞれの良さを生かしつつ、次回に開催に向けて検討したいと思えます。

この場を借りて、本集会にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

(報告者 支部活動委員：金庭久美子、船橋瑞貴、世良時子、田川恭識)